



エアライドサスペンションキット付きグラマーシート

Groundsmaster® 360 シリーズ マルチパーパス・マシンおよび 7200 トラクションユニット

モデル番号30511

取り付け要領

取り付け

既存の運転席を取り外す

1. 平らな場所に駐車し、デッキを降下させ、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させる。キーは抜き取っておく。
2. バッテリーからのマイナスケーブルを外す。
3. 運転席を倒す。倒した運転席はラッチで確実に支えること。
4. トラクションユニットのハーネスからシートスイッチを外す (図 1)。

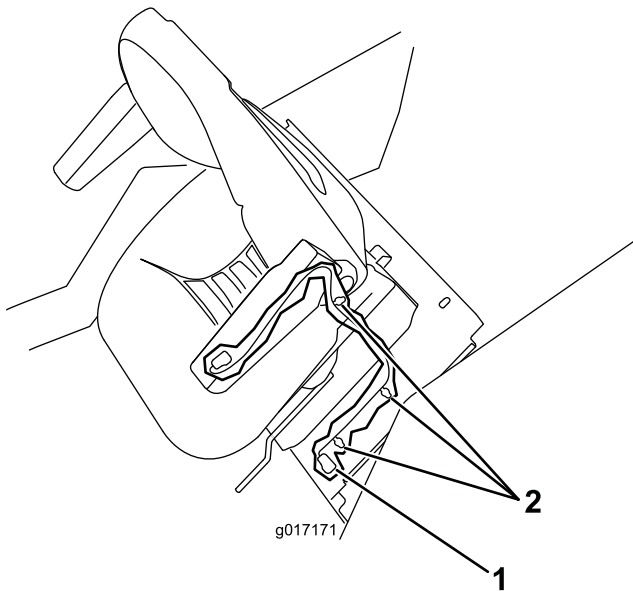


図 1

1. シートスイッチのコードのコネクタ
2. ワイヤハーネスクリップ

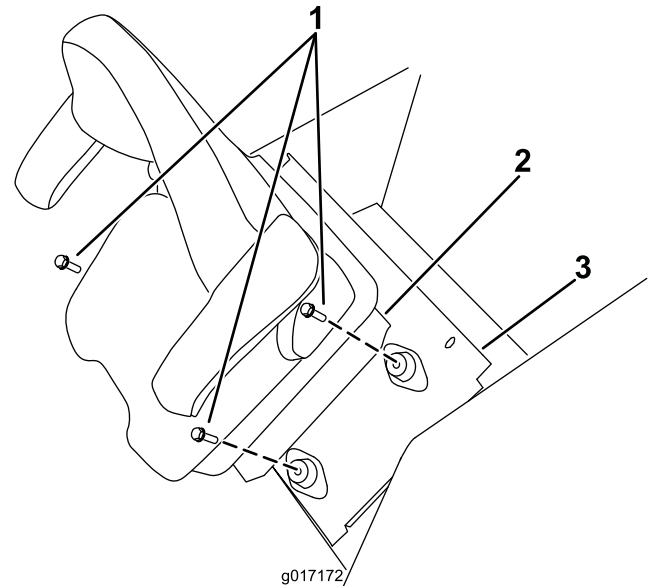


図 2

1. シートベースの締結具
2. シートベース
3. シートプレート

7. シートをシートベースに固定している締結具を取り外す (図 3)。座席を外す。

5. シート用のワイヤハーネスをシートプレートに固定しているケーブルタイを全て除去する (図 1)。
6. シート・ベースをシートマウントおよびシートプレートに固定している締結具を取り外す。シートとシートベースを機体から取り外す (図 2)。

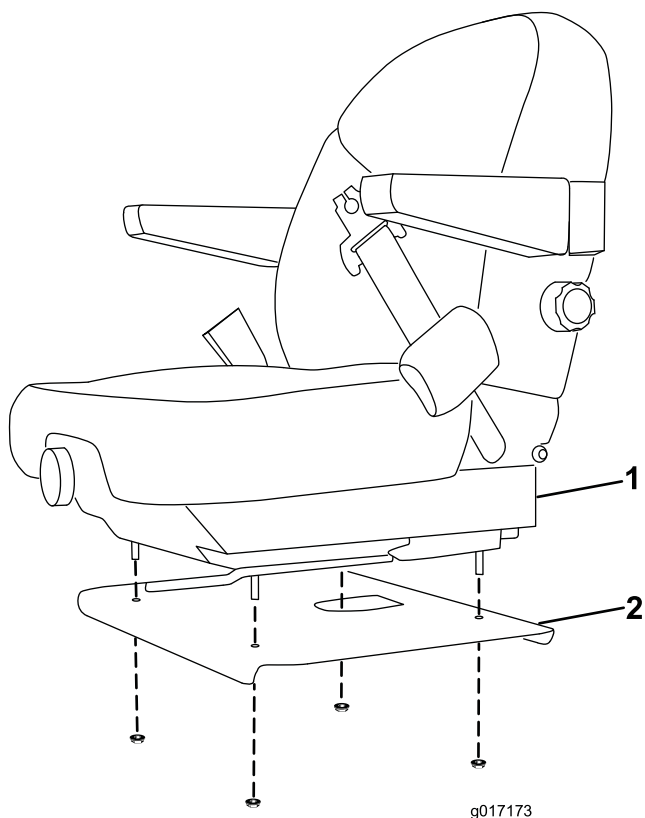


図 3

1. 運転席

2. 座席ベース

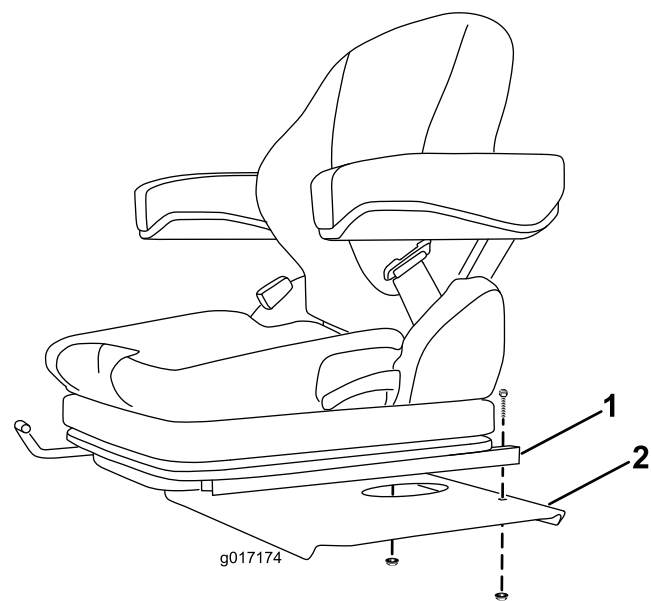


図 4

1. シートスライドの後部

2. 座席ベース

2. ボルトとフランジナットを使って、各シートスライドの前部をシートベースに取り付ける（図 5）。

グランドマスター 360 への取り付け

注 シートスライドを前後に動かして、締結具を取り付ける穴を露出させる。

1. ボルトとフランジナットを使って、各シートスライドの後部をシートベースに取り付ける（図 4）。

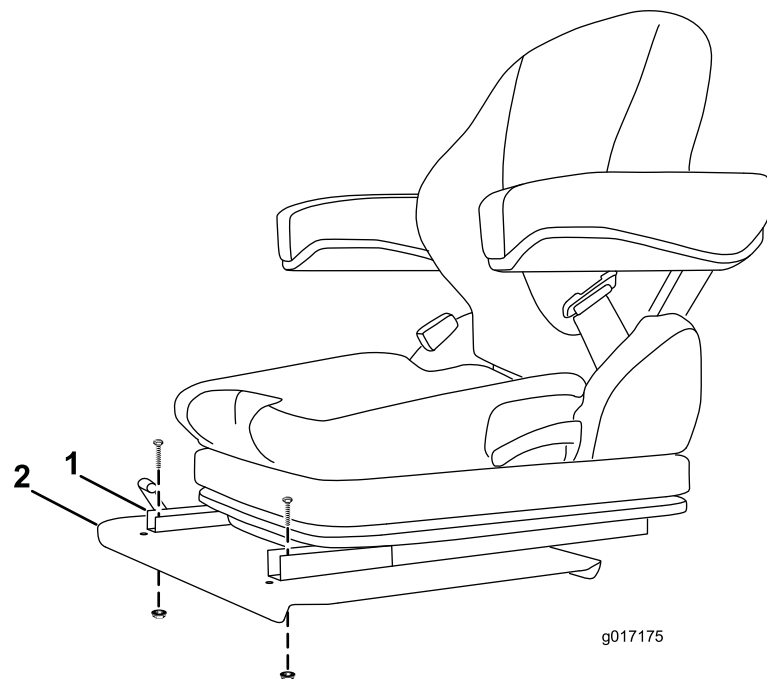


図 5

1. シートスライドの前部

2. 座席ベース

3. 新しいハーネスをトラクションユニットのハーネスに接続する（図 6）。

注 ワイヤハーネスを取り付けるときに、鋭利な部分にひっかけるなどしてハーネスを破損しないよう注意してください。

4. シートプレートの穴にハーネスクリップ (3 個) を差し込む (図 6)。
5. シートベースの穴に下からハーネスを通し、残りのハーネスクリップをシートベースの穴に差し込む (図 6)。

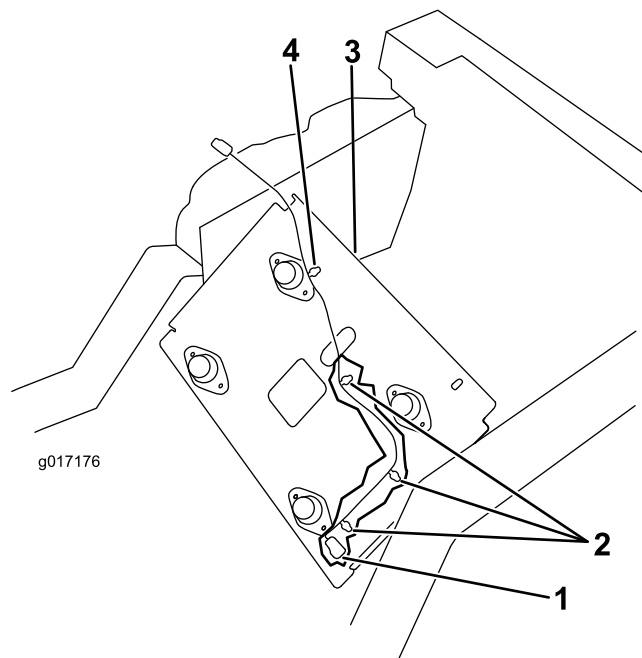


図 6

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. ワイヤハーネスのコネクタ | 3. シートベースのハーネスクリップ |
| 2. シートプレートのハーネスクリップ | 4. シートベース |

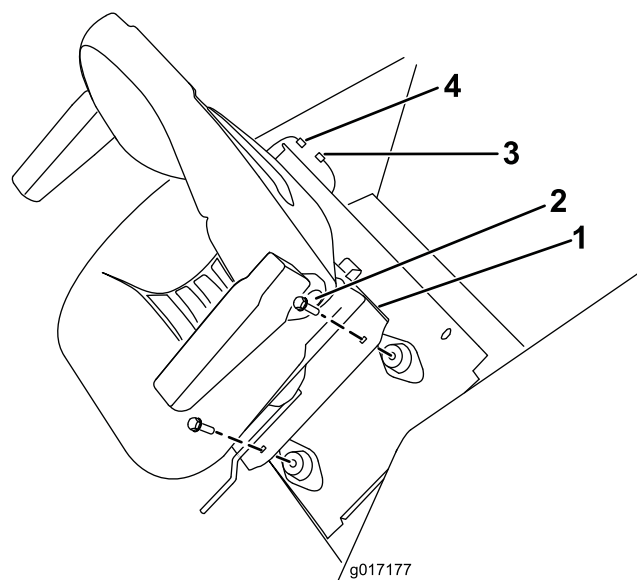


図 7

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. シートベース | 3. ワイヤ・ハーネス |
| 2. 取り付け用締結具 | 4. シート用コードのコネクタ |

7. ワイヤハーネスをシート用のコードのコネクタに接続する (図 7)。
8. 運転席をロックしているラッチを外して運転席を基に戻す。
9. バッテリー・ケーブル (マイナス) をバッテリーに接続する。

グランドマスター 7200 への取り付け

重要 グランドマスター 7200 でシートキットを利用するには、補助電源ユニット (モデル 30382) が搭載されている必要があります。

注 シートスライドを前後に動かして、締結具を取り付ける穴を露出させる。

1. ボルトをフランジナットで、各シートスライドの後部をシートプレートに固定する (図 8)。

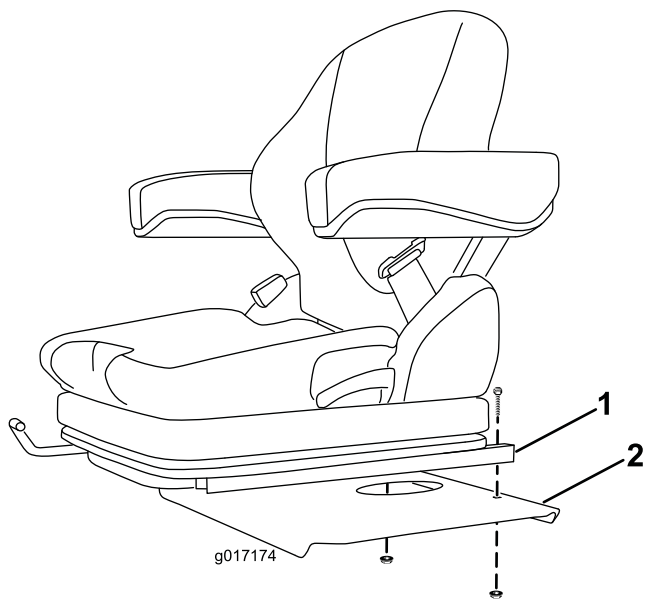


図 8

1. シートスライドの後部 2. シートプレート

2. ボルトをフランジナットで、各シートスライドの前部をシートプレートに固定する (図 9)。

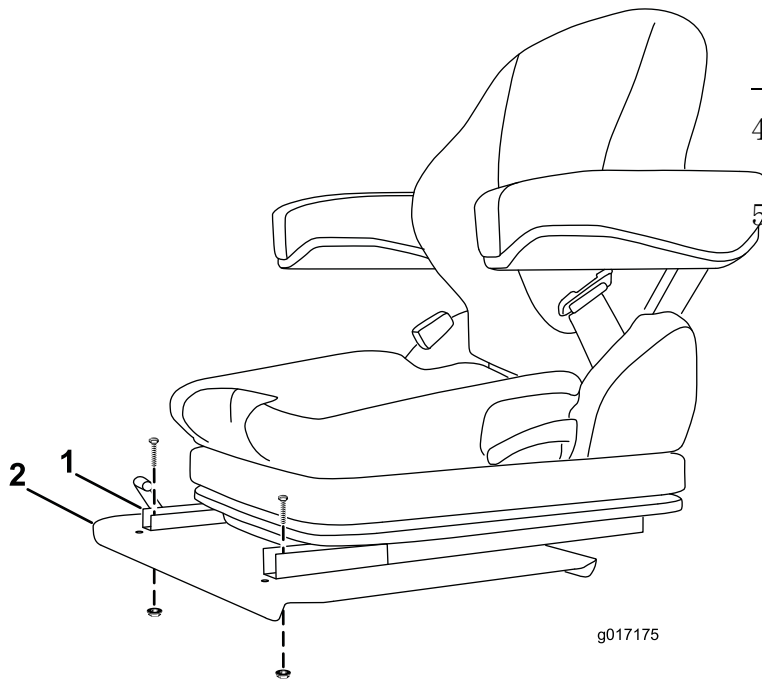


図 9

1. シートスライドの前部 2. シートプレート

3. 新しいワイヤハーネスを以下のように接続する：

- ・ **Seat** というラベルのついたハーネスコネクタを、シードからきているコネクタに接続する (図 10)。

- ・ **Seat Switch** というラベルのついたハーネスコネクタを、トラクションユニットのハーネスに接続する (図 10)。
- ・ **Seat Power** というラベルのついたコネクタ (スぺード形) を、補助電源ユニットのヒューズブロックの未使用の端子に接続する (図 10)。ヒューズブロックの該当スロットに 10 A ヒューズを取り付ける。
- ・ **Ground Block** というラベルのついたコネクタ (リング端子) を、補助電源ユニットのアース端子に接続する (図 10)。

重要 ワイヤハーネスが、鋭利な部分、高温部、可動部などの近くを通っていないことを確認する。



図 10

1. シートに接続 3. ヒューズブロックに接続
2. ワイヤハーネスに接続 4. アースに接続 (リング端子)

4. 運転席をロックしているラッチを外して運転席を基に戻す。
5. バッテリーケーブル (マイナス) をバッテリーに接続する。

運転操作

座席を調整する

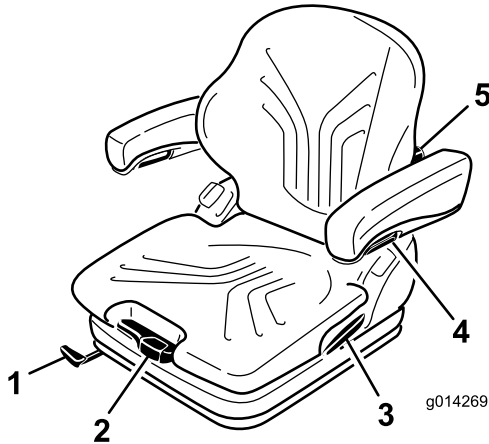


図 11

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 前後調整レバー | 4. アームレスト調整ノブ |
| 2. 体重調整レバー | 5. 腰部サポート調整ノブ |
| 3. 背当てロックレバー | |

体重調整の方法

スムーズで快適な乗り心地になるよう、サスペンションを調整することができます。

重要 調整は、運転席に座った状態で、イグニッションキーを ON 位置にして行います。

そして、体重調整レバーを使って、運転する人の体重に合わせます (図 11)。

調整表示窓の透明部分の中央に矢印がくるように調整してください。

矢印がこの部分にあれば、運転席のスプリングの動きが最も小さい状態になっています。

体重調整の最低限界・最高限界位置は音で分かります。

重要 オペレータのけがやマシンの破損を防止するために、使用前に体重調整を点検し、必要に応じて調整するようにしてください。

注 体重調整中に、コンプレッサの作動時間が 1 分間以上になるとコンプレッサが損傷する恐れがありますから注意してください。

座席の前後位置調整

運転席は前後にスライド調整することができます。体格に合わせて運転しやすい位置を選んでセットしてください。

1. 調整は、レバーを引き上げてシートのロックを解除して行います (図 11)。

2. 希望の位置に座席をスライドさせ、レバーから手をはなせばその位置に固定する。
3. 座席が確実に固定されているのを確認するため、前後にゆすってみる。

注 運転中は、ロックレバーを操作しないでください。

腰部サポートの調整

腰部サポートはすわり心地を向上させ、ドライバーの作業をやりやすくします。

快適な乗り心地になるよう、背もたれの下部を調整することができます。

調整ノブを上に戻すと背もたれの上部の湾曲の調整ができます。調整ノブを下に戻すと背もたれの下部の湾曲の調整ができます () 図 11。

0 = 湾曲なし

1 = 上部の湾曲が最大

2 = 下部の湾曲が最大

アームレストの調整

アームレストは、個別に高さを調整できるほか、必要に応じて折りたたむことができます。

アームレストの高さを調整するには、カバーについている丸いキャップ (図 11) を外し、裏側にある六角ナット (13 mm) をゆるめて高さを調整し、その位置でナットを締めつけます。ナットにキャップを取り付けます。

▲ 警告

シートベルトのローラが適切に作動しなくなる恐れがありますのでアームレストを一番低い位置にセットしないでください。

アームレストの角度の調整

オペレータが運転しやすいように、アームレストの角度を調整することができます。

アームレストの角度はノブを回して調整します (図 11)。

ノブを外側に回す (+) とアームレストの前側が高くなり、ノブを内側に回す (-) と低くなります。

バック・レストの位置調整

快適な乗り心地になるよう、背もたれの位置を調整することができます。すわり心地の一番よい位置に調整してください。

ロックレバーを引いてバックレストキャッチを外します（図 11）。この時、背もたれにもたれかかるなどして力を掛けないようにしてください。

座席の前側や後側に力をかけたりゆるめたりして、背もたれを適当な位置に調整してください。ロックレバーから手を離しすと背もたれはロックされます。

注 バックレストをロックした後は、バックレストが動かないのが正常です。

メモ:



Count on it.